

いつでもどこでも誰もが心地よく
心も一緒に動くまち



Well-Moving City SAPPORO

2045 VISION



札幌市

はじめに

札幌市は、豊かな自然と都市が調和し、四季の美しさが日々の暮らしに彩りを添える、世界に誇れるまちです。これまで、私たちは年間約5mの雪が降る厳しい冬と共存しながら、都市で豊かに暮らしていくための都市整備を進めてきました。特に大きな出来事としては、平成23年(2011年)の札幌駅前通地下歩行空間(愛称:チ・カ・ホ)開通があげられます。これにより地上・地下どちらも歩行者交通量が約2.4倍(約9万人)※¹になるなど、季節を問わず都心部を安心して移動することが可能となりました。また平成26年(2014年)には北3条広場(愛称:アカプラ)が完成し、都心部に訪れる多様な人々を受け入れるパブリックスペース※²となりました。このような都市の転換は自然発生的に生まれたものではなく、官民が協働して都市空間の在り方を考え、実践してきた結果であり、それ自体が大切な札幌の文化でもあります。

現在、札幌市は人口減少社会や環境問題への対応、持続可能な公共交通・除排雪体制の構築など多くの課題を抱えています。それらに対応しながらも、次の世代へ魅力的な都市空間の恩送りのバトンをつないでいくため、20年後の未来を見据えたビジョンとして、新たな都市空間コンセプトである「Well-Moving City SAPPORO(ウエルムービングシティサッポロ)」を策定しました。誰もが、いつでも、どんな季節でも、安心して楽しく歩けること。その歩みの先で、人と人が出会い、心が動き、笑顔が生まれ、シビックプライド※³が育まれていく。そんな「心も一緒に動くまち、札幌」を、私たちは本気で目指します。

このビジョンは、お読みいただくみなさまが、「どのような都市で暮らしていきたいか」について想いを巡らせて、それぞれの立場で「Well-Moving City SAPPORO」の実現に向けて、何か一つでも行動につながることを願って作成しました。世界に先駆けて、積雪寒冷都市の札幌ならではのWell-Moving Cityをつくるという挑戦に、産学官民による共創のチカラで、共に歩みを進めましょう。一步一步の先に、札幌の新しい未来が広がっていきます。

最後に、本ビジョンの策定にあたりご尽力を賜りました「札幌市ウォークブルビジョン策定検討委員会」のみなさまをはじめ、市民ワークショップやシンポジウム、各地域における社会実験等、様々なご協力をいただきましたみなさまに心からお礼を申し上げます。

札幌市長 秋元克広



※¹…出典:「チ・カ・ホ開通10年目の整備効果(札幌市建設局土木部道路課)」

※²…パブリックスペース:道路、公園、広場等の公共的空間(民間所有の公開空地等も含む)

※³…シビックプライド:市民が自らの都市に対して誇りと愛着を持ち、地域の未来に主体的に関わる意識

